

平成21年2月 斐伊川水系水質情報

平成21年2月(宍道湖:4日・中海:9日採水)		単位:mg/l(Chl-a:μg/l)								
項目	層	宍道湖NO. 3			中海湖心			米子湾中央部		
C O D	全層	4.1	△	平年並み	2.9	○	良 好	3.0	○	良 好
全窒素	上層	0.85	★	かなり高い	0.58	△	平年並み	0.62	△	平年並み
全リン	上層	0.039	△	平年並み	0.019	○	良 好	0.023	○	良 好
Chl-a	上層	13	△	平年並み	4.3	△	平年並み	3.7	△	平年並み
塩化物イオン	上層	1,760	△	平年並み	6,620	△	平年並み	5,490	▽	やや低い
	下層	2,230	△	平年並み	14,300	△	平年並み	8,260	△	平年並み
溶存酸素	上層	12.5			11.2			11.4		
	下層	11.9			7.3			10.5		

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
C O D	全層	4.9	下降	4.5	下降	5.5	下降
全窒素	上層	0.51	上昇	0.48	やや上昇	0.54	横ばい
全リン	上層	0.028	やや上昇	0.027	横ばい	0.043	横ばい

宍道湖の透明度は1.9mから0.9mに悪化。塩分濃度も急激に低下している。中海湖心の透明度は3.2mと良好で、宍道湖の影響はまだ受けていない。米子湾も珪藻類の異常発生が心配されたが、0.9mから3.0mと大改善。

【評価基準】

前年まで過去10年間のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

平均値＋標準偏差値の3倍…… ★ 〈非常に高い〉

平均値＋標準偏差値の2倍…… ☆ 〈かなり高い〉

平均値＋標準偏差値 …… × 〈やや高い〉

平均値－標準偏差値 …… △ 〈平年並み〉

ただし、環境基準値以下の場合には〈良好〉とする。

平均値－標準偏差値の2倍…… ○ 〈良好〉

▽ 〈やや低い〉(塩化物イオン)

平均値－標準偏差値の3倍…… ◎ 〈かなり良好〉

〈かなり低い〉(塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値の変化…… 上昇、下降

前月値±標準偏差値の1/2の変化… やや上昇、やや下降、横ばい

注) 平均値±標準偏差値 …… 全体のおよそ 68.2%

平均値±標準偏差値の2倍… 全体のおよそ 95.5%

平均値±標準偏差値の3倍… 全体のおよそ 99.7%